

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【公開番号】特開 2006-219114 (P2006-219114A)
 【公開日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-033
 【出願番号】特願 2005-314215 (P2005-314215)
 【国際特許分類】

B 6 3 B 39/03 (2006.01)

【F I】

B 6 3 B 39/03 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 15 日 (2007.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

船体の両舷に設定した一対の少なくとも 2 つのウイングタンク (3 a , 3 b) と、これらウイングタンクの底部に液体を左右方向へ移動させる液体通路 (2) で連結すると共に、前記のウイングタンク上部に液体の制動を目的としたバルブ (5) 等の手段を介して連通させる空気ダクト (4) と、液体通路内に減揺水槽の固有周期の可変を目的としたダンパ (6) 等の手段を設け、更に、船の横揺角を検知し、その値を以て横揺れの単周期や平均横揺周期を演算し、更に制御信号等を出力する A R T コントロール部 (2 1) と、バルブやダンパを駆動させる開閉機器装置部 (2 0) と、A R T 操作盤 (1 9) とを具備した、液体 (w) の移動または停止、或いは減揺水槽の固有周期可変操作を自動的に成し得る減揺水槽において、タンク内の液動を超音波あるいは超電波を発信し検知する液動検知部 (1 1) と、検知部から出力される液動情報を解読する情報処理部 (1 2) と、その情報を開示する表示器 (1 8) と、必要に応じて警報を出す警報回路 (1 6) と、その情報を A R T コントロール部などへ送信する情報外部出力回路 (1 7) からなる液動監視装置 (1 0) によって誤操作の防止を可能とすることを特徴とする液動監視装置付き船舶の動揺軽減装置。